

保護者様

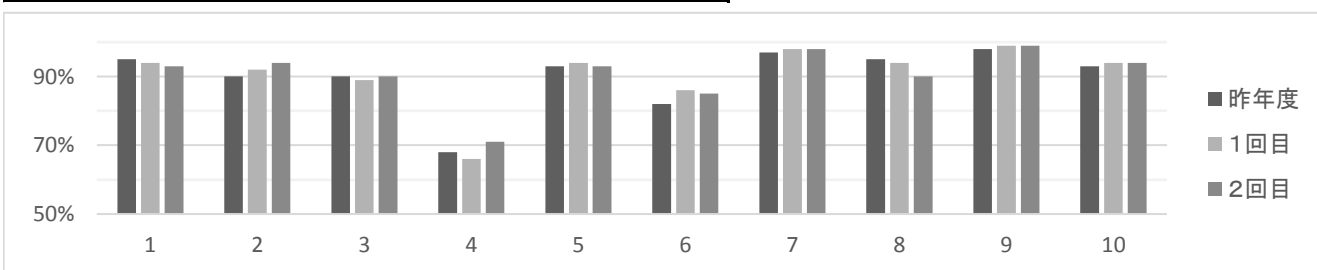
富士市立富士中央小学校
校長 市川 清美

平成29年度 第2回「学校評価」集計結果の報告

寒冷の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育に御理解と御協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、冬休み前に8月から12月までのお子さんの様子や家庭における保護者の取組、富士中央小学校の教育活動等をふり返り、学校評価をしていただきましたが、集計が完了しましたので、子どもたちの自己評価と合わせて報告させていただきます。今回は、昨年度と7月に行った第1回との比較をしながら成果と課題を明らかにしました。この結果を、第4ステージ及び来年度の教育活動に生かしていきます。

1 保護者からの評価（肯定回答の割合）



項目	昨年度	1回目	2回目	昨年比
1 子どもは、 よい表情 で楽しそうに学校に行っている。	95%	94%	93%	
2 子どもの交友関係を把握している。	90%	92%	94%	+4%
3 家族や近所で挨拶をしている。	90%	89%	90%	
4 家での役割 があり、お手伝いをしている。	68%	66%	71%	+3%
5 家庭学習の見届けや励ましをしている。	93%	94%	93%	
6 子どもは家で学校の話をよくする。	82%	86%	85%	+3%
7 子どもの食事や睡眠、体力作り等への配慮をしている。	97%	98%	98%	
8 社会のルールを話す。→子どもに 忘れ物 をしないように見届けや声掛けをする。	95%	94%	90%	-5%
9 学校からのお便りや配付物に目を通してしている。	98%	99%	99%	
10 困った時に、学校の先生方に気軽に相談する。	93%	94%	94%	

※太字は変更になった質問内容。

【成果と課題】

◎「はい。」「どちらかと言えばはい。」の肯定的な回答が、1回目と同様、今回も1項目を除いてすべて85%以上でした。そのうち90%以上の項目は1つ増え、10項目中8項目となりました。元々、達成度が高い中でさらに向上が見られるのは素晴らしいことです。

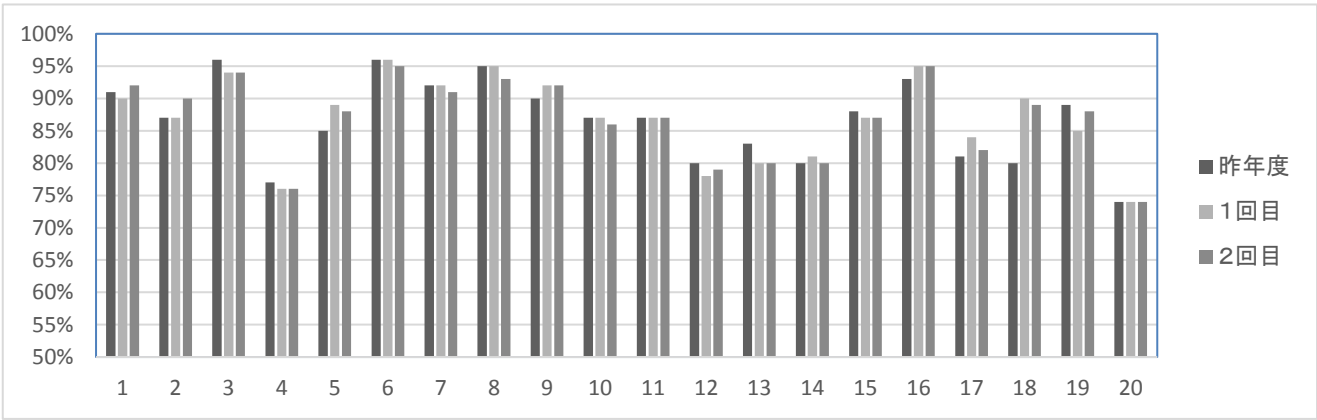
◎9「学校からのお便りや配付物に目を通してしている。」7「子どもの食事や睡眠、体力作り等への配慮をしている。」は、引き続き100%に近い回答です。また、2「子どもの交友関係を把握している。」は昨年度よりも4%も増えました。5「家庭学習の見届けや励まし」も含めて、これらの結果は、保護者の皆さんが、学校の教育活動に高い関心を持ち、お子さんに深い愛情を注いで慈しみ育てている表れと受け止め、気が引き締まる思いです。

○前回まで60%台で下がり続けていた4「家での役割があり、お手伝いをしている」が、今回70%台に戻りました。保護者の皆さんが、人から感謝されて満足感を得る機会を意図的に与えてくださり、働く意識を高めてくださったことをありがたく思っています。

△忘れ物に関しては、後期になってお子さんに任せようと思っ見届けや声掛けが減りました。その結果、子どもたちの調査にも表れているように忘れ物が増える傾向にあります。さじ加減は難しいとは思いますが、折に触れて、見届けや声掛けをお願いします。

今回の結果を励みに、今後も引き続き、保護者の皆様と職員が協力して、更に富士中央小の子どもたちの学びを支え、生きる力を育てていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

2 子どもの自己評価（肯定回答の割合）



項目	昨年度	1回目	2回目	昨年度
1	91%	90%	92%	
2	87%	87%	90%	+3%
3	96%	94%	94%	
4	77%	76%	76%	
5	85%	89%	88%	+3%
6	96%	96%	95%	
7	92%	92%	91%	
8	95%	95%	93%	
9	90%	92%	92%	
10	87%	87%	86%	
11	87%	87%	87%	
12	80%	78%	79%	
13	83%	80%	80%	-3%
14	80%	81%	80%	
15	88%	87%	87%	
16	93%	95%	95%	
17	81%	84%	82%	
18	80%	90%	89%	+9%
19	89%	85%	88%	
20	74%	74%	74%	

※太字は変更になった質問内容。

【成果と課題】

◎ 2「授業はよく分かる。」が初めて90%台になりました。また、5「自分の考えや学習したことがノートに書ける。」が高い数値で維持されています。今年度も、学校体制での研修に取り組み、授業改善を推進してきた成果と考えられます。加えて、ご家庭での見届けや励ましが、学習意欲向上の大きな力となっています。引き続き、新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」を目指して、子どもたちと共に授業の質を高めていきたいと考えてます。

○ 前回、評価がよかった9「さん、くん付け」6「いっしょに遊ぶ友達がいる」の2項目は、今回も高い数値でした。友達を大切に作る心が育ってきていることを嬉しく思います。また前回評価が下がった19「黙って掃除をする。」も、児童会を中心に学校全体で取り組んできたことで、子どもたちに学校を綺麗にしようとする思いが高まり、評価が上がりました。18「靴箱やトイレのサンダルの整理、整頓ができています。」や保護者アンケートの4「家での役割がありお手伝いをしている。」と合わせて、子どもたちが、学校教育目標の「いい表情、いい動き」を意識して頑張ってきた成果が表れています。

△ 4「先生や友達に自分の思ったことが伝えられる。」や20「困った時に先生方に相談する。」については、コミュニケーション能力の育成の視点からも、更に伸ばしていきたい項目です。対話や議論を通じて、自分の考えを根拠と共に伝える、相手の考えを理解し、自分の考えを広げ深めるなど、言葉を大切にして、対話による共感を創り上げていくことに力を入れていきたいと思えます。これからもご家庭も学校も同じ方向を見つめ歩んでいけますよう、お力添えをよろしくお願いいたします。